



高岡 **北**  
ロータリークラブ  
TAKAOKA-NORTH  
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 野尻 信晴
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 吉谷奈艶子
	国内創立順位・1489	会報委員長 魚住 晃一



第 1785 回 例会 9 月 14 日 (月)



◇点 鐘

◇ソング “奉仕の理想”

◇会長挨拶並びに報告

まず、ご報告ですが、熊本と福島の集中豪雨義援金をお送りしました。

大坂なおみちゃんが優勝して嬉しいです。全米オープンテニスで、1セット目を落としてから優勝したことがないそうなので、素晴らしいことです。また、7名の黒人犠牲者の名前を書いたマスクを着用し、人種差別について抗議されています。2回も優勝するのはすごいです。「私に流れる先祖の血を誇りに思って戦いました。」というコメントをされています。うって変わって朝乃山は負けましたね。魚住さんに勝ち方を習ってほしいですね。

6月ごろにメダカと一緒にカエルの卵を庭に放したら、カエルになり夜中にゲロゲロとうるさいなと思っておりましたが、最近声がしなくなりました。多分、蛇に食べられたのではないかと思います。

朝晩はだいぶ涼しくなりました。例年なら「おわら」が終わったら、ようやく秋が来たと感じていましたが、今年は「おわら」もなく、静かに秋がやってきました。

稲刈りも最近始まっております。昔は、手で刈って、はさにかけて乾かし、ようやく脱穀しましたが、今はあっという間に機械で40分ほどで終わってしまいます。

今、どこに行っても非接触体温計で測られます。私は首筋で測ってもらいますが、額は嫌な感じがします。

ある保育園で、パネルにイラストが書いてあったのですが、雷が落ちて真っ黒になりました。おとぎの森の後ろのほうです。雷は1度落ちると集中するらしいです。

今日は魚住さんの卓話です。楽しみにしております。

◇出席報告 出席者 22名 メイクアップ済 2名

名誉会員	会員数	本日の出席率	8/31 例会 修正出席率
1名	36名	88.89%	87.88%

◇ニコニコBOX 報告

野尻会長：①大坂なおみちゃん、全米テニス優勝おめでとう！コメントがステキでした

②朝乃山負けました。あわてすぎ。

③魚住さん、卓話よろしくお祈りします。

宮崎外男君：10月12日(月)にきのこの卓話をするこ  
ことになりました。よろしくお祈りします！

宮田義弘君：誕生日祝いを頂いて。

あと2日で誕生日です。

山辺知代君：誕生日祝いを頂いて。

ありがとうございました。

前田 央君：前回は誕生日をお祝いいただき、また記念品までいただいてありがとうございました。大切に使います。

【今年度ニコBOX 累計額 147,000円】

◇委員会報告

魚住雑誌委員長より「ロータリーの友」9月号の紹介  
(※卓話とあわせて)

= 9月定例理事会の報告 =

1. 今後の予定について・・・承認

・8月24日(月)のあおぞら例会が好評のため、月1回程度あおぞら例会を開催予定

2. ポリオプラスへの寄付について・・・承認

・2020-21年度具体的地区目標にて、ポリオプラスへの寄付を募っている(\$30/人)

→今までは、ガバナー公式訪問にて、要請があったときのみ寄付している。

《持ち回り理事会(2020年9月8日)》

1. 2021-22年度地区役員選出の件・・・承認

・2020年9月8日に神野ガバナーエレクトより、藤井会員へ次年度表彰審査委員長就任のお願いが届く。

・地区幹事が次年度表彰審査委員長になるのが通例。藤井会員へも連絡済。

## ◇本日のプログラム（担当：広報・雑誌・会報）

### 会員卓話「ロータリーの友月間に因んで」

魚住 晃一 会員

今日は、以下のポイントを中心にお話します。

- ・『ロータリーの友』が生まれたいきさつ
- ・『友』の果たす役割
- ・横組みと縦組みの違い
- ・今年度の新しい企画
- ・ウェブサイト・電子版について
- ・投稿の際の注意点

2015-16年度から国際ロータリー（RI）の特別月間が変更になりました。それに伴い、4月の「雑誌月間」がなくなったため、ロータリーの友委員会ならびに同理事会では、あらためて「ロータリーの友」について、考える時間をつくって下さいという思いで9月を「ロータリーの友月間」と10月の「米山月間」が、日本独自の月間となります。

戦後1地区だった日本のロータリーが2地区に分割されたのが1952年7月。その少し前、4月に大阪で開催された地区大会で、分割後の2地区が情報を共有できるようにと、雑誌の創刊が決まりました。その後、東西のロータリアンで協議した結果、1953年1月に『ロータリーの友』が創刊されました。創刊号の発行部数は、3,300部でした。最初は全ページ横組み（横書き）でスタートしましたが俳句や短歌の欄ができ、部分的に縦組み（縦書き）のページも混在するようになってきました。現在のように、横組み（横書き）、縦組み（縦書き）と分かれるようになったのは、1972年1月号からです。後で詳しく紹介しますが、現在は、国際ロータリー関連、ロータリー全体で力を入れている活動、特集などは横組み（横書き）、ロータリーの友の創刊目的を果たす内容のものは縦組み（縦書き）に掲載しています。その後、日本の会員数の増加と共に発行部数は伸び、これまでで一番発行部数が多かったのは、1990年台後半の142,000部です。会員数が一番多いときでした。現在の発行部数は、約92,000部です。

ロータリーの友は、国内のロータリアン同士を結ぶ懸け橋として創刊されましたが、1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）の公式地域雑誌としての役割を担うことになりました（1979年7月号から1年間の試行期間を経て）。その後、公的な呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」となりました。現在、RIの認可を受けた地域雑誌は、ロータリーの機関誌として、各地域のロータリアンとRIを結ぶ役割を果たしています。そして、これらとRI本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌『ROTARY（元The Rotarian）』を合わせて、「Rotary Global Media Network」と称します。（各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌2020年9月号横組みP18～19に掲載）

国際ロータリーのブランディングの指針に基づき、7月号からロータリーの友の表紙にも、「Rotary」を入れることになりました。このため「ロータリーの友」という雑誌名が小さくなってしまいましたが、雑誌名は「ロータリーの友」のままです。その代わりに、縦組みの表紙では、ロータリーの友の文字を大きく、しかも縦書きにしました。お分かりになりましたか？

横組みの表紙の一部を切り抜いたものです。印象がずいぶん変わるでしょう

ロータリアンは、その地域で国際ロータリー（RI）から指定されているロータリー地域雑誌（日本の場合は『ロータリーの友』）または『The Rotarian』を購読する義務がありますが、ロータリー地域雑誌にもいくつかの義務があります。雑誌の内容の50%はロータリー、またはロータリー関連の記事であること、年に6回は発行され、24ページ以上であることなどです。7月号の表紙に新年度の国際ロータリー（RI）会長の写真を掲載することもその条件に含まれています。

ロータリーの機関誌は、国際ロータリーから指定された記事を転載する義務もあります。『友』誌では「RI指定記事」と呼んでいます。記事のタイトル周りにロゴを入れています。目次には「RI」だけのロゴを入れています。

毎月掲載されるものとしては、RI会長メッセージ、財団管理委員長のメッセージ、次回行われる国際大会の案内があります。これは、ロータリークラブの会員として、全世界で共通して認識してほしいことなので、ぜひ目を通してください。これらのほかに、7月号では、RI会長の紹介記事、9月号か10月号には国際大会のプロモーション記事、3月は、RI会長エレクトの記事などがこの最近ではRIから指定されています。

2020年の6月のRI理事会で、『The Rotarian』の名称が、2021年1月号までに『ROTARY』に変更にすることが決定されていましたが、9月号から変更になりました。

『ロータリーの友』では、RI指定記事以外にも、『ROTARY』の記事の中から、日本のロータリアンの関心に沿うような記事を掲載しています。毎月掲載しているロータリープロジェクトアラウンドザグロブ（Rotary projects around the globe）では、世界のロータリアンの活動の様子を伝えています。

この他に横組みでは、特別月間に関連した記事やロータリーが大切にしている活動を特集を掲載しています。



ロータリーの活動、という「インターナショナルで、自分とは無縁な感じがする」という声をよく耳にします。『ロータリーの友』は縦組みは親しみやすいけど、横組みはどうも・・・という声も聞きます。横組みは、RI指定記事などを掲載していますので、どうしても硬い雰囲気になりがちですが、身近な活動からロータリーを感じてもらえるような編集を心がけています。

横組みが、国際ロータリーの方向性を意識した記事が中心である一方、縦組みは、投稿記事を中心に掲載しています。

『ロータリーの友』が創刊された時の目的でもある、日本のロータリアンの中で情報を共有したいという気持ちを表わしているのが縦組みです。「友愛の広場」、「私の一冊」、「アットワーク」などさまざまな投稿コーナーがあります。投稿規定は、『ロータリーの友』か「ロータリーの友ウェブサイト」でご覧になれます。ご不明な点は直接ロータリーの友事務所へのお問い合わせください。

今年度、2つの新企画が始まりました。

一つは、まんが、「ポール・ハリスとロータリー」。ロータリーの創始者ポール・ハリスの生い立ちから、「決議23-34」が制定されるまでのストーリーを、1年にわたり連載します。ロータリーの友ウェブサイトで、動画も掲載していますので、こちらも併せてご覧ください。表紙の下の二次元バーコードから、スマートフォンでもご覧になれます。

2つ目は、「大人の着こなし図鑑」です。ロータリアンが着る機会の多いビジネススーツに改めて着目します。

毎月、テーマを決めてビジネスファッションのミニ知識を紹介します。併せて着こなしに関するお悩み、質問、大募集です。10月、4月には女性のビジネススーツを紹介しています。

2013年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会で、アメリカとカナダ以外のロータリアンも、印刷版と電子版の選択ができるようになりました（アメリカとカナダのロータリアンについては、2010年4月の規定審議会で、印刷版と電子版の選択ができるようになりました）。毎月1日に最新号がアップされますので、ご利用ください。なお、ご覧いただく際に必要なIDとパスワードは、各クラブに2019年4月号のロータリーの友に同封してお送りしましたので、事務局にお尋ねください。なお、このIDとパスワードをクラブのウェブサイトやクラブ会報（週報）には掲載しないでください。

電子版は『ロータリーの友』の有料購読者だけに提供しているもので、IDとパスワードをそれらに掲載することによって、誰でもアクセスできるようになってしまいます。また、ウェブサイトから、投稿ができるようになりました。「『友』電子版ログイン」ボタンの下にある「投稿をお待ちしています」ボタンをクリックしてください。なお、これまで通り、郵送やEメールでのご投稿もお受けしています。また、友事務所の出版物の注文、増部、減部もこちらのサイトからできますので、ご利用ください。

投稿に関するお願いです。『ロータリーの友』に興味を持って読んでいただくためには、写真が大きなポイントになります。そのために投稿いただく写真について、活動の様子がよく分かる写真をお送りください。また、投稿する際は、データを加工せず、そのままの形でお送りください。活動集合写真や記念写真しかない場合、掲載を見合わせていただく場合もあります。また、一貫性のあるロータリーのブランドイメージの確立を目指す国際ロータリーの指針に沿い、間違った使い方をしたロゴの入った写真は、ロータリーの機関誌として掲載が難しくなりました。ご理解くださいますようお願いいたします。

各投稿欄に記載した投稿規定をよくご確認のうえ、ご投稿ください。投稿規定の文字数を超えた長文はこちらで編集させていただきます。活動日から1カ月以上経過して投稿された原稿は掲載されませんので、活動後、速やかにロータリーの友編集部へ原稿と写真をお送りください。編集部で確認できるよう、必ず活動日を入れてください。編集の担当者から、記事の確認などで、ご連絡する場合がありますので、ご投稿の際は、必ず昼間、連絡の取れる電話番号、メールアドレスなどをご記入ください。

以下6点について該当する場合は、掲載できませんので、ご注意ください。

- ①活動後、かなりの時間が経過したもの
- ②内容が〇周年記念例会・記念式典のみの記事（記念の奉仕活動は掲載します）
- ③長さなどが投稿規定に合わないもの
- ④個人・団体を誹謗中傷したもの
- ⑤地区やクラブのもめ事について書かれたもの
- ⑥政治・宗教的に偏りがあるもの

すべての写真や原稿は、作成者に著作権があります。写真は自分で撮った写真、原稿は自分書いた文章をお送りください。地元の新聞社やプロのカメラマンなどが撮影した写真を投稿する際には、必ず許可を得てからお送りください。『ロータリーの友』に掲載されている写真、原稿は、法律で保護されています。クラブ会報やウェブサイト、その他に、無断で使用することはできません。転載する場合は、ご相談ください。

ロータリアンではない人にロータリーのこと、ロータリーの活動について知ってもらうために、広報誌『ROTARY 友と歩む 地域と歩む』を制作しています。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際に、一般の人に配布し、ロータリーのことを知ってもらうツールとしてご利用ください。また青少年プログラムに参加するお子さんをもつ保護者の方にロータリーを説明する資料として最適です。

『ロータリーの友』には、ロータリーに関するさまざまな情報が掲載されています。『ロータリーの友』はロータリアンの活動や意見からなる雑誌です。

『ロータリーの友』を読み、『ロータリーの友』をご利用ください。